

有限会社ヒロテック 御中

製品安全データシート(SDS)

客先品名: 除菌ウェットシート(アルコールタイプ)

メーカー名: 株式会社ホノックス

株式会社ホノックス
千葉県千葉市美浜区中瀬1-6
エム・ベイポイント幕張1404-B
[電話043-297-2100](tel:043-297-2100) [Fax043-205-4300](tel:043-205-4300)

株式会社ホノックス		
承認	確認	作成
小嶋	孫	孫

製品安全データシート (SDS)

JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019 準拠版

1 化学品(製品)及び会社情報

提供会社情報

会社名： 株式会社 ホノックス
住所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-6 エム・ベイポイント幕張1404-B
電話番号： 043-297-2100
FAX番号：

製造会社情報

会社名： ZheJian Aijian Sanitary Products Technology Co.,Ltd
所在地： Sth Workshop, No. 31, Yinxing Road, Gaobu Town, Yuecheng District, Shaoxing City, Zhejiang Province

製品名： ウェットワイプ アルコールタイプ
用途： 除菌

2 危険有害性の要約

GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性の概要：

可燃性固体。
強い眼刺激。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。
発がんのおそれ。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害。
長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ。

GHS分類

可燃性固体	区分1	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A	
発がん性	区分1A	
生殖毒性	区分1A	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3	気道刺激性
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3	麻酔作用
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分2	中枢神経系
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1	肝臓

3 組成及び成分情報

単一物質/混合物の別： 混合物

主な適用法令、政令 ※

物質名	含有量 (%)	CAS No.	化審法	化管法	安衛法	毒劇法
エタノール	55.00	64-17-5	該当	非該当	該当	非該当
水	44.7144	7732-18-5	該当	非該当	非該当	非該当
アルキル(C=12~16) (ヘンジール) (ジメチル)アノモニウムクロリド	0.1375	68424-85-1	該当	非該当	非該当	非該当
プロパノン-1, 2-ジオール	0.075	57-55-6	該当	非該当	非該当	非該当
穀物抽出エキス	0.05	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
2-フェノキシエタノール	0.0203	122-99-6	該当	非該当	非該当	非該当
3-エトキシ-2-プロピノール =フェチカルハート	0.0023	55406-53-6	該当	非該当	該当	非該当
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	0.0006	2682-20-4	該当	非該当	非該当	非該当

- ※ 化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
 化管法： 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
 安衛法： 労働安全衛生法
 毒劇法： 毒物及び劇物取締法
 詳細は「15 適用法令」も参照する事。

4 応急措置

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○吸入後；通常の使用では応急処置の必要はないと考えられます（少量の単回暴露）。 ○皮膚に付着した後：応急処置の必要はありません。 必要に応じて水で洗い流してください。 ○眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 ○飲み込んだ後：偶発的な摂取で健康に危険を及ぼすほどのことはありません。 口を水ですすいでください。
------	--

5 火災時の措置

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○消火剤：ドライケミカル、耐アルコール性フォーム、二酸化炭素、水スプレー。 ○特有の危険有害性：液体と蒸気は可燃性です。 火災時に刺激性の蒸気と燃焼生成物（炭素酸化物）を放出します。 ○特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。 燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 可能な限り風上から消火する。 放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。 ○消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)、手袋を着用する。
------	---

6 漏出時の措置

注意事項	<p>○人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：すべての発火源を取り除く。</p> <p>○環境に対する注意事項：河川、下水等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 安全であれば漏れやこぼれを防ぎます。</p> <p>○回収、中和：こぼれたものはすぐに片付け、廃棄物は安全に処分してください。</p>
------	--

7 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意	<p>特定された使用方法に従って使用してください。 熱/火花/裸火/高温の表面に近づけないでください。</p>
--------	---

保管上の注意	<p>涼しく、乾燥していて、換気の良い場所でなければなりません。 コンテナをしっかりと閉じてください。 熱源または発火源から離して保管してください。</p>
--------	--

8 暴露防止及び保護措置

日本産業衛生学会で濃度が許容されている物質はありません。

・保護措置

注意事項	<p>○一般的な保護および衛生対策：産業衛生の基本原則に沿ってください。</p> <p>○呼吸保護：通常の状態では必要ありません。</p> <p>○手の保護：通常の状態では必要ありません。</p> <p>○目の保護具：通常の状態では必要ありません。</p> <p>○皮膚及び身体の保護具：通常の状態では必要ありません。</p>
------	---

9 物理的及び化学的性質

物理的状態 (状態)	個体
物理的状態 (形状)	液体含有の不織布
物理的状態 (色)	白色
物理的状態 (臭い)	アルコール臭
引火点 (°C)	23°C
爆発特性 (上限) (vol%)	15.00%
爆発特性 (下限) (vol%)	3.30%
水に対する溶解性	部分的に水に溶ける

10 安定性及び反応性

特記事項	<p>○安定性：推奨される保管条件下で安定しています。</p> <p>○危険有害反応可能性：通常の状態では危険な反応は知られていません。</p> <p>○避けるべき条件：熱、炎、火元。</p> <p>○混触危険物質：アルカリ金属、酸化剤。</p> <p>○危険有害な分解生成物：データなし。</p>
------	---

11 有害性情報
製品含有に関する情報

CasNo 122-99-6

局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
------	-------------------	-----

CasNo 57-55-6

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	中枢神経系 血液系	区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	中枢神経系 呼吸器	区分1

CasNo 64-17-5

局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
発がん性		区分1A
生殖毒性		区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	気道刺激性 麻酔作用	区分3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	中枢神経系 肝臓	区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	中枢神経系	区分2

12 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13 廃棄上の注意

注意事項	無害廃棄物。 少量は家庭ごみとして処分できます。 大量の場合は、国および地域の関連規制に従って遵守してください。 汚染されたパッケージは未使用品として廃棄してください。
------	---

14 輸送上の注意

- ・国連「危険物の輸送に関する勧告」に基づく分類情報は以下のとおり。

国連番号	UN3175
品目（国連輸送名）	固体（引火性を有する液体を含むもの）
国連分類	可燃性物質類
クラス/等級	4.1
容器等級	II

15 適用法令

主な適用法令を以下に例示する。

適用法令名	該当する物質情報(CasNo、適用法令情報)	
化審法：	第一種特定化学物質	該当なし
	第二種特定化学物質	該当なし
	監視化学物質	該当なし
	優先評価化学物質	[CasNo. 68424-85-1]184 [CasNo. 57-55-6]106
	新規公示化学物質(2011/4/1～)	該当なし
	新規公示化学物質(～2011/3/31)	[CasNo. 55406-53-6]2257 [CasNo. 2682-20-4]39
	既存化学物質	[CasNo. 64-17-5] 2-202 [CasNo. 7732-18-5] [CasNo. 57-55-6] 2-234 [CasNo. 122-99-6] 9-1277/ 7-78
化管法：	該当なし	
安衛法：	名称公表化学物質	該当なし
	新規名称公表化学物質	[CasNo. 55406-53-6]2358
	製造等が禁止される有害物等	該当なし
	製造の許可を受けるべき有害物	該当なし
	表示し、又は通知すべき物質	[CasNo. 64-17-5] 別表第9の61 [CasNo. 55406-53-6] 別表第9の606
	危険物	[CasNo. 64-17-5] 引火性の物
	特定化学物質等	該当なし
	鉛等／四アルキル鉛等 有機溶剤等	該当なし
毒劇法：	該当なし	
毒劇法：有機シアン化合物から除かれるもの	該当なし	

※ 注記：本製品は原体ではありません

16 その他の情報

参考文献

主要な情報源：

化学物質総合情報提供システム (CHRIP)：製品評価技術基盤機構 提供(2020/4/26版)
GHS混合物分類システム：経済産業省 提供(Ver6.0)

その他

ここに表記された情報は作成日又は改訂日における知見に基づいたものであり、正確なものであると信じていますが、その正確性やその使用によって得られる結果を保証するものではありません。
記載の注意事項は通常の手続きを対象としており、特別な取扱いをする場合には状況に応じた安全対策を施し、十分な注意を払う必要があります。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定されますようお願い致します。